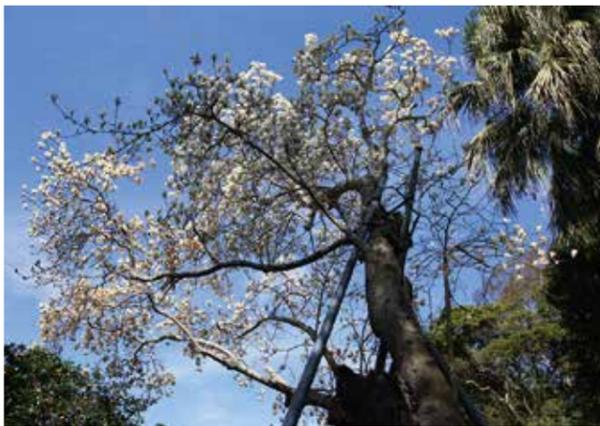


3/3 Hirado City Photo News
白い大きな花が満開に



田平町の瑞石山無量寿院海寺(通称:海寺)跡にある長崎県指定の天然記念物のハクモクレンが白い大型の花を咲かせました。

このハクモクレンは、幹周り2.2m、高さ15m、樹齢は推定600年という巨木で、日本植物保護推進会議の調査によると、ハクモクレンとしては日本一の大きさということです。

所有者の武野さんは「例年より早く開花した。昨年の台風で枝や幹の一部が折れてしまったが、今年も大きな花が咲いて良かった」と話していました。

3/2 Hirado City Photo News
子どもたちを危険から守る



生月こども園で、不審者の侵入を想定した避難誘導訓練が行われました。訓練では、不審者を園内に侵入させないための対応や園児の避難経路を確認しました。

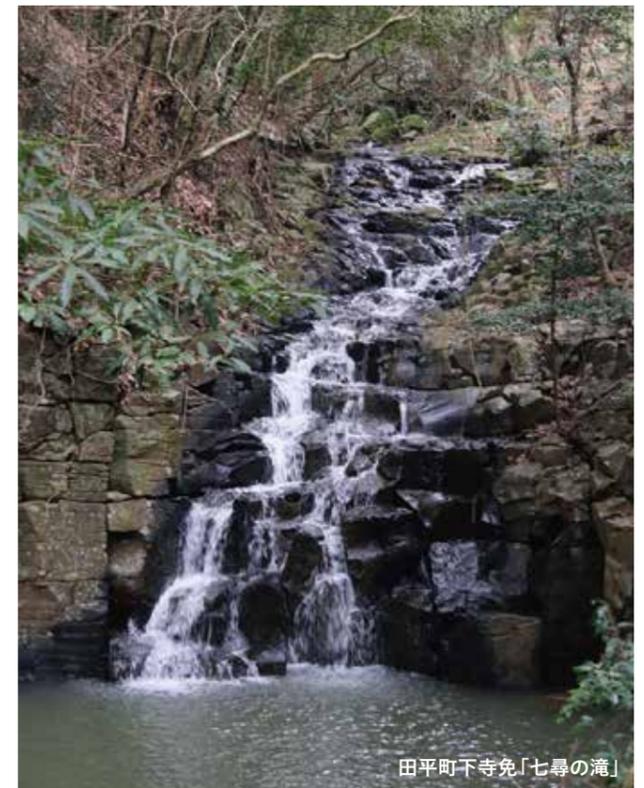
訓練後には、平戸警察署と館浦駐在所の警察官が、園児に怪しい人についていけないこと、不審者に遭遇したときはすぐに家族やこども園の職員に伝えることなどをパネルを使って説明。また、職員を対象に、110番通報で的確に不審者の情報を伝えるための通報訓練が行われました。

3/13 Hirado City Photo News
田平の魅力再発見「ぶらり旅良たびら滝めぐり」



田平町中央公民館と田平まちづくり協議会主催の「ぶらり旅良たびら滝めぐり」が開催され、町内からの参加者19人が田平町にある3つの滝「轟の滝」「七尋の滝」「夕霧の滝」を巡りました。

参加者は、マイクロバスに乗り込み、田平の名所の解説を聞きながら移動。滝に到着すると、地元の住民から名称の由来などの説明を受けました。参加者は「田平にこんな魅力的な場所があるとは知らなかった」と話し、滝をバックに記念撮影をしていました。



田平町下寺免「七尋の滝」

3/15 Hirado City Photo News
防波堤に躍動するシイラが完成



生月漁港の防波堤に、2匹の躍動感あるシイラの壁画が完成しました。防波堤の壁画制作は、生月小学校が卒業記念として、生月小学校PTA、生月地区まちづくり運営協議会、生月漁協と協力して、平成25年から毎年実施。これまでにタイ、イカ、タコ、トビウオなどが描かれました。

この日は、最後の仕上げとして卒業生代表が2匹のシイラの目に色を塗って完成。代表の1人、岳田唯花さんは「みんなが作った作品に最後に色を入れることができ嬉しかった」と話しました。

3/12 Hirado City Photo News
救急業務の受入体制強化に



平戸市消防本部で「高規格救急自動車受納式」が行われました。総務省消防庁が行う令和2年度寄贈救急自動車事業において、昭和44年から毎年(一社)日本自動車工業会が全国各地の自治体などに救急自動車の寄贈を行っており、令和2年度は北海道の積丹町と平戸市の2カ所に寄贈されました。

この日は、(一社)日本自動車工業会常務理事の矢野義博事務局長が平戸市消防本部を訪れ、目録およびレプリカキーを贈呈。寄贈された救急自動車は、平戸市消防署生月出張所へ配置されます。

2/26 Hirado City Photo News
アダムクラブが肖像画を寄贈



三浦按針(ウィリアム・アダムス)の偉大な功績を顕彰するために設立された「ザ・ウィリアム・アダムス・クラブ」の代表者交代に伴い、現代表のロビン・ジェイムズ・メイナード氏(写真左から2番目)と新代表のポール・クリスティ氏(写真右端)らが平戸市を訪れ、三浦按針墓地や平戸オランダ商館など三浦按針ゆかりの場所を巡りました。

26日には、市役所を訪れ市長らに代表者交代などの報告や当時の史実などを基に忠実に再現して作成したウィリアムアダムスの肖像画を寄贈しました。

2/20-23 Hirado City Photo News
フレッシュな新酒を求めて



森酒造場で、新酒のお披露目会が行われました。お披露目会は会場の混雑を避けるため4日間にわたり開催。市内外からフレッシュな新酒を求めて多くの方が訪れました。

お披露目会では、こだわりの新酒4種の試飲が行われ、訪れた人たちは併せて開催された椿展の椿を眺めながら飲み比べていました。佐世保市から訪れた夫婦は「冬ひらんと純米50がいろんな料理に合いそうでお気に入り。酒蔵巡りが趣味なので、久しぶりに来ることができてうれしい」と話していました。